様式第１号（第１０条関係）

２０２４年度業務実績報告書

提出日　令和７年３月２６日

１．職名・氏名　教授・柴田正輝

２．学位　　学位　博士（理学）、専門分野　古生物学、授与機関　東北大学、授与年　H.３０

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 恐竜学（２）、古脊椎動物学実習（２）、実践恐竜学（２）、地球生命史学（２）、導入ゼミ（２）、福井を学ぶ（２）
②　内容・ねらい 恐竜学：恐竜をより深く知ることを目的とし、メディアに登場する有名な種類を紹介しながら生物としての恐竜を理解してもらう。 古脊椎動物学実習：福井県にしかない恐竜化石発掘現場を利用し、発見から研究までの過程を体験させる。福井県に来た学生に、福井が恐竜王国である理由を知ってもらう。 実践恐竜学：恐竜の基礎を学び、恐竜研究の基本を体験する。広く浅く知りたい学生向けとし、特に県大以外の学生を対象としている。 地球生命史学：地球誕生以来の生命進化と環境変化の関係を絶滅というイベントを通して学修し、現在地球上で起こっている生物の多様性の重要性を理解する。 導入ゼミ：恐竜の展示を通して興味を持った種類を調べるという作業を軸に、コミュニケーションからプレゼン、レポート作成まで学ぶ。 福井を学ぶ：１回の講義であるが、福井県のブランドである恐竜を知ってもらう。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義では、メディアに登場する恐竜や、近年話題となっている生物多様性を絶滅という観点から紹介し、生活に直結する内容を取り入れている。また、実習は、恐竜王国としてのユニークな立地を考慮し、恐竜博物館や発掘現場で行うことで、本学でしか行うことができない内容を取り入れ、福井をより深く知ってもらうことにしている。さらに、クリーニング作業やレプリカ製作など実際の研究の基礎となる内容を盛り込み、一見華麗に見える恐竜研究の地道な作業を知ってもらうようにしている。導入ゼミでは、恐竜博物館の展示を利用し、恐竜を用いてグループ活動によるコミュニケーション力の育成から大学生として必要な文献調査、プレゼン、レポート作成を学べるようにしている。

(2)その他の教育活動
内容 ①　放送大学福井学習センター　客員教員 ②　放送大学福井学習センター主催シンポジウム「じゃない方の古生物学」開催 ③　第３４回日本臨床工学会市民講座「福井の恐竜と恐竜進化」 ④　福井県立恐竜博物館　博物館セミナー「恐竜のキホン」 ⑤　兵庫県立姫路東高等学校 SSH 事業 講演　「デジタル古生物学」 ⑥　かつやま恐竜スクール育成会　委員 ⑦　かつやま恐竜スクール　公開講座　「福井の恐竜について」 ⑧　姫路市立家島中学校キャリア講演会「恐竜の基本」 ⑨　福井県立恐竜博物館特別講演会＆トークショー　パネラー ⑩　津市津図書館講演会「最新恐竜学の世界」 ⑪　星稜高校土曜講座　講演 ⑫　兵庫県立姫路東高校主催　「理系女子と科学倫理を考える日　～第４回 Girl's Expo with Ethics～」助言者

⑬　大学院生　博士課程前期３名、博士課程後期２名指導

４．研究業績

(1)研究業績の公表

①　著書

【０本】

②　学術論文（査読あり）

【０本】

③　その他論文（査読なし）

1. New Ornithomimosaurian material from the Khok Kruat Formation, Lower Cretaceous of Thailand. Memoir of the Fukui Prefectural Dinosaur Museum 23 (2024) 1-7. Chokchaloemwong, Duangsuda, S. Hattori, H. Yukawa, M. Shibata and W. Naksri

【０本】

④　学会発表等

1. 中国浙江省義烏市の白亜系から産出した脊椎動物の足跡化石群．日本古生物学会第 174 回例会（2025 年 1 月、オンライン）、築地祐太、金 幸生、鄭 文傑、東 洋一、野田芳和、柴田正輝、口頭
2. 放射光 X 線 μCT 法による鳥脚類イグアノドン類上顎歯における巨大管状組織の三次元的解析．日本古生物学会第 174 回例会（2025 年 1 月、オンライン）、幸地 佑、河部壮一郎、今井拓哉、柴田正輝、星野真人、上杉健太朗、口頭
3. Paleopathological study on *Brachylophosaurus canadensis* (Ornithopoda, Hadrosauridae), using the medical CT. 日本古生物学会第 174 回例会（2025 年 1 月、オンライン）、Shibata, Masateru, S. Kawabe, T. Imai, H. Boekenheide, C. Woodruff, K. Jinnouchi, S. Shimbashi, H. Hyodoh, T. Wakabayashi, S. Takeuchi, K. Takada and T. 口頭
4. タイ王国のコククルアト層（下部白亜系）から産出した竜脚類恐竜化石について．日本古生物学会第174回例会(2025年1月、オンライン)、関谷 透、柴田正輝、湯川弘一、P. Jintasakul、W. Naksri、D. Chokchaloemwong、口頭
5. 福井県勝山市の下部白亜系手取層群北谷層より産出した新たなアドクス科カメ類．日本古生物学会第 174 回例会（2025 年 1 月、オンライン）、薗田哲平、柴田正輝、口頭
6. イグアノドン類(鳥脚類)上顎における歯への栄養供給経路の解析．日本古生物学会 2024 年年会（高知大学)、幸地 佑、河部壮一郎、今井拓哉、柴田正輝、星野真人、上杉健太朗、ポスター
7. イグアノドン類の歯骨歯に見られる乳頭状突起の形態的特徴．日本古生物学会 2024 年年会（高知大学)、真貝人和、柴田正輝、ポスター
8. 手取層群北谷層から産出した，Paraves の前肢骨化石．日本古生物学会 2024 年年会（高知大学)、今井拓哉、服部創紀、河部壮一郎、柴田正輝、東 洋一、ポスター

【８件】

⑤　その他の公表実績

【０本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】 研究分担者　基礎研究（C)、恐竜における脳と頭骨の形態的共変化の解明（代表研究者　河部壮一郎） 【学外】
(3)特許等取得
なし
(4)学会活動等
・　県外恐竜化石予備調査（１２月）

５．地域・社会貢献活動

⑭　放送大学福井学習センター　客員教員 ⑮　コラートジオパーク：第二回タイ王国ジオパークネットワークシンポジウムにおける展示監修および公園（ナコンラチャシマ県、５月)、タイ王国シリントーン博物館会館記念講演（カラシン県、１２月） ⑯　福井県立恐竜博物館　博物館セミナー、県立大学公開講座全４回（うち１回担当)、大阪読売文化センター公開講座　全４回のうち２回 ⑰　かつやま恐竜スクール育成会　講演

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
教育研究委員会 輸出管理委員会 大学案内 2025 ワーキンググループ
(3)学内行事への参加
・オープンキャンパス（新学部）（８月)、夢ナビライブ Autumn 研究室訪問（オンライン）（10月)。 ・入試説明会（福井南高校、7 月）
(4)その他、自発的活動など